

～台湾交流推進事業～

花蓮太平洋縦谷マラソン 2026

2026花蓮太平洋縦谷半程馬拉松



2026.9.30 与那国町

0.まずはじめに

0-1 台湾交流推進事業とは

台湾交流推進事業とは、与那国町と台湾花蓮市が姉妹都市（1982.10.8～）であることから、与那国町と台湾花蓮市との相互理解を図る目的の事業

- ①花蓮太平洋縦谷マラソンへの町民の参加（2026.9.17～9.21）
- ②台湾フェアの開催（2026.10.17～10.18、会場:久部良多目的集会施設）

の2つを企画している。

0-2 台湾花蓮市とは

台湾花蓮市とは、中華民国（台湾）の東海岸に位置し、山と海に囲まれており、太平洋に面する東側には、国際港である花蓮港がある。豊富な川砂や特産の大理石等の名産地となっている。台湾で最も太陽に照らされる都市といわれている。



花蓮市公所（花蓮市役所）ロゴマーク

花蓮市の人口・座標・面積

人口:	約96,860人
座標:	北緯23度58分20秒 東経121度36分23秒
面積:	29.4095 km ²
時差:	UTC+8

日本とは1時間の時差がある

1.花蓮太平洋縦谷マラソン2026

1-0 花蓮マラソン参加者について

(敬称略)

氏名	参加種目	氏名	参加種目	氏名	参加種目
上地 常夫（団長）	5km	田島 香奈子	10km	大野 祐樹	ハーフ
前外間百合子	5km	益 美生子	10km	近藤 信介	ハーフ
大宜見智恵子	5km	中井 舞風	10km	山本 博信	ハーフ
前盛 和美	5km	中井 真理	10km	小笠原 俊	ハーフ
野田 道也	5km	池谷美紗代	10km	中山 大城	ハーフ
伊盛 浩美	5km	佐藤 樹	10km	大野 祐樹	ハーフ
上地 艶子	10km	富澤 由美	10km		
廣澤 純子	10km	泉山 理美	10km		

1-1 1日目 (9.17)

6:30 那霸空港集合 結団式

9:05 台湾桃園空港 到着

11:00 空港駅→台北駅 到着

台北駅到着時

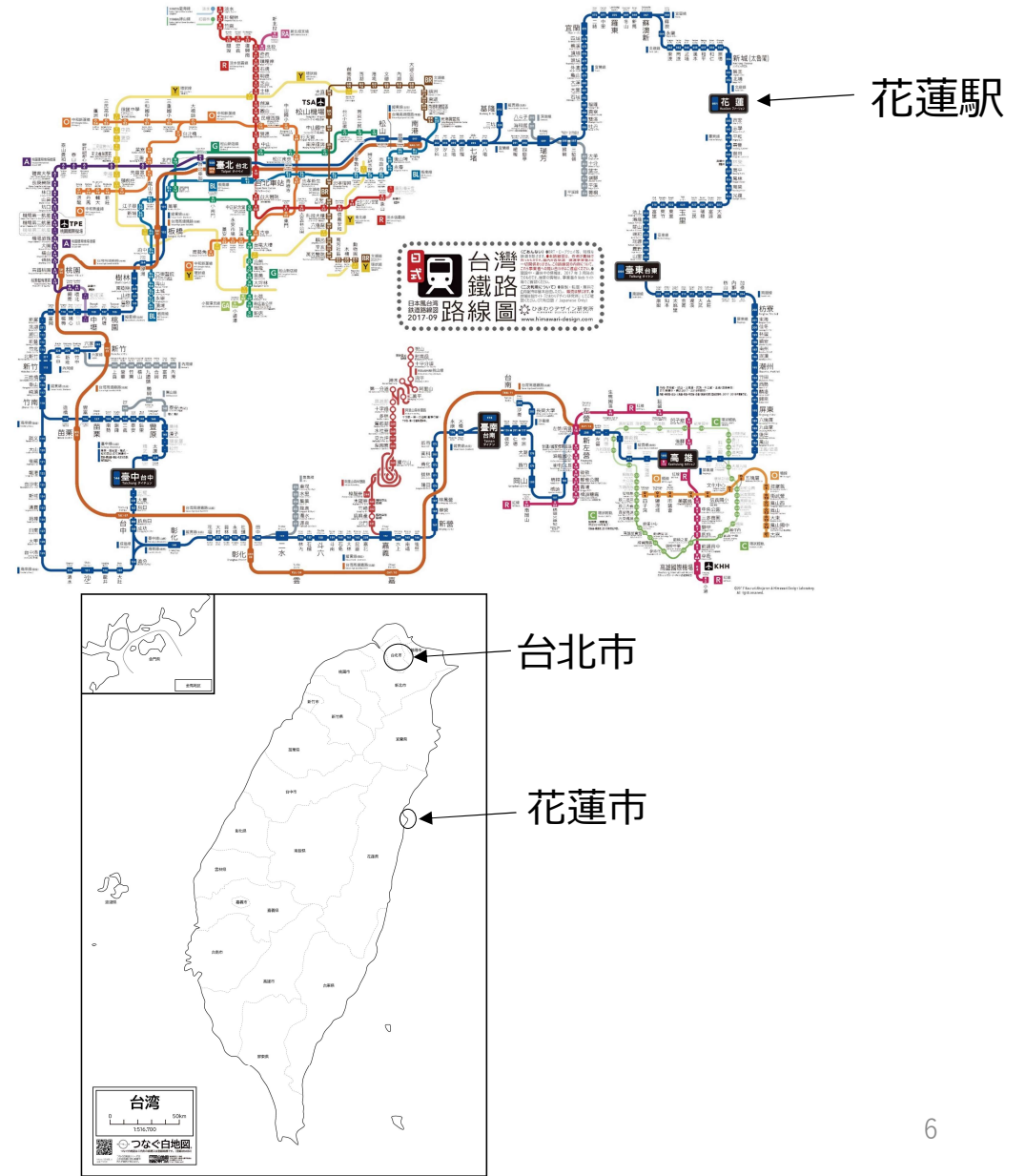


11:58→14:45 台北駅→花蓮駅

花蓮駅到着時



台北駅から花蓮駅までは台湾鉄道を利用し、
鉄道距離は約194km、所用時間は約2時間半。
料金は583NT\$（約2900円）（利用当時）



15:30 花蓮市公所（花蓮市役所）到着



花蓮市 魏嘉彥 (ウェイ・チアイエン)市長による歓迎



花蓮市役所前で原住民の舞踊による歓迎を受けた。



花蓮市役所前にて

15:45 花蓮市役所での歓迎会



花蓮市役所会議室において団長（町長）
挨拶



与那国町と花蓮市のお土産品贈呈



初めての台湾訪問に関する感想や、
マラソン大会の意気込みなどを直接
花蓮市役所の職員へ伝えました。



花蓮市役所職員へよなたんステッカーを配布しご挨拶。



市長室において



花蓮市役所職員との集合写真

18:00 花蓮太平洋縱谷馬拉松歡迎レセプション



レセプションでの団長挨拶



花蓮市よりマラソン参加記念品の贈呈

歡迎レセプションでは、与那国町の他に、盛岡市（岩手県）、蔚山広域市（韓国）が出席した。花蓮市は、与那国町、1981年6月に蔚山広域市と姉妹都市を締結しており、盛岡市は2019年11月より友好都市締結をしています。

1-2 2日目(9.18) 花蓮太平洋縦谷マラソン大会当日

5:30 集合
5:50 ハーフマラソンスタート
6:10 10kmスタート
6:30 5kmスタート



集合時



団長がハーフ・10kmのスターター務め、5kmの部に出場しました。



8:30頃 ゴール





全員無事完走することができました。

花蓮太平洋縱谷マラソンは、海岸沿いで小さなアップダウンが続くコースで、走りごたえがありますが、誰でも完走することができます。



花蓮太平洋縱谷半程馬拉松ホームページより

<https://www.pacific-valley-marathon.com/info.php?id=2>

13:00～ 花蓮市視察

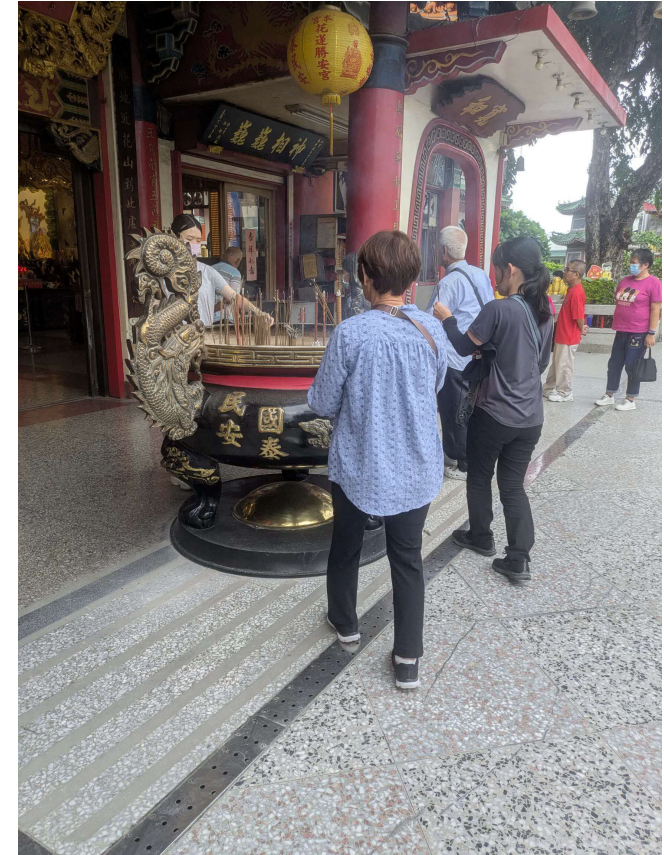
- ・七星カツオ節博物館
- ・花蓮勝安宮



七星カツオ節博物館



花蓮勝安宮



台湾の祈願（参拝）の方法を学び、実践しました。

台湾での文化を学んだことによって、異文化を理解すると共に、日本と似たような文化もあり、親近感を感じました。

・中琉記念公園（姉妹都市記念碑）



姉妹都市記念碑前にて

2022年10月28日に姉妹都市締結40周年を記念して、記念碑「約束」が設置された。

中琉記念公園は、沖縄（琉球）で観光業を起業し成功させた花蓮出身の李堅氏が資金提供をして建設されました。中琉記念公園の名前の由来として、中琉（中華民国（台湾）と琉球）の深い絆や友好関係への感謝が込められています。

現在は、緑豊かな敷地の中で地元住民が散歩やゲートボールのできる広場など、大人のみならず子どもの遊び場として利用する憩いの場として利用されています。

17:30～20:30 夜市（東大門国際観光夜市）



魏嘉彦市長も参加し、マラソン大会の疲れを癒しました。



東大門夜市（東大門国際観光夜市）は花蓮駅から徒歩約30分の場所にあり、営業時間は毎日18:00～23:00で夜遅くまで台湾料理や原住民料理など数多くのグルメを楽しむことができます。

1-3 3日目(9.19) 花蓮市視察

9:15~10:15 朝市(重慶市場)

台湾の朝市は早く、6:00~13:00まで営業しており、仕事や学校前の朝食として数多くの市民や観光客で賑わっています。



市場の様子



11:00～12:00 太魯閣国家管理處（タロコ国立公園）



原住民の一生を紹介する動画の説明を受ける様子



太魯閣周辺の説明を受ける様子



太魯閣国家管理處とは、台湾東部にある、壮大な大理石の渓谷で知られる国立公園で、面積は92,000ヘクタールあります。2024年4月に発生した台湾東部沖地震により公園周辺も被災しました。

14:00頃 花蓮駅



花蓮駅へ到着

台湾と日本で有名な曲を皆で歌いました。



花蓮県議会議員の魏嘉賢氏

花蓮駅へ到着した際、魏嘉彦花蓮市長や花蓮市職員また、花蓮県議会議員であり花蓮市長の兄である魏嘉賢（ウェイ・ジアシエン）氏もお見送りに来てくれました。

13:33～ 花蓮駅→台北駅



花蓮駅から出発する際、花蓮市長をはじめ、花蓮市役所職員が見送りをしてくれました、3日間盛大なおもてなしをしてくれたことに感謝の言葉を伝える人など、出発時間ぎりぎりまで交流をしました。

2. さいごに

2027年10月8日に、1982年10月8日から続いた与那国町と花蓮市の姉妹都市としての関係は45周年を迎えます。しかし、与那国町と花蓮市との交流は姉妹都市の締結の時から始まったものではありません。それより以前から行政としての交流に限らず、人と人の交流を重ねてまいりました。姉妹都市締結は、長い交流の積み重ねから生じた大切な関係として、正式な形としたものです。このマラソン大会をはじめとした交流を一度のイベントとして終わらせるのではなく、これからも着実に一歩ずつ積み重ね、与那国町と花蓮市の絆をさらに深めていきましょう。45周年記念である2027年は与那国町が花蓮市へ訪問するだけでなく、花蓮市が与那国町へ訪問する「往復の交流の年」としていきたいと考えています。